

教 科	外国語	科 目	論理・表現 I
単 位 数	2単位	学年・類型	第1学年・全クラス
使用教科書	Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I (数研出版)		
補助教材等	BIG DIPPER(数研出版)		

1 学習目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、意見や主張などを口頭で伝え合ったり発表したり、また文章を書いて伝えたりすることができるようにします。

2 学習方法

- モデル文の内容を理解し、関連する重要表現を学ぶことによって、実際のコミュニケーションにつなげる練習をします。
- 基本的な文法事項について、例文を通して理解を深め、練習問題の演習によって応用力を身に付けます。
- 様々なタイプの自己表現活動を通して、口頭や文章で表現する練習をします。

3 学習評価

(1) 評価の観点の趣旨と方法

観点 \ 評価	評 価 の 観 点 の 趣 旨	評 価 の 方 法
知識・技能	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き、及び論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に伝える表現について理解を深めている。 ・実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて、知識を適切に活用できる。	○定期考査・小テストの成績 ○言語活動への取組状況 ○パフォーマンステストの成績
思考・判断・表現	・情報を整理しながら考えなどを形成し、論理的に適切な英語で表現して伝え合ったり発表したり、また文章を書いて伝えることができる。	○定期考査・小テストの成績 ○言語活動への取組状況 ○パフォーマンステストの成績
主体的に学習に取り組む態度	・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手に配慮しながら、主体的、自立的に表現活動を行おうとしている。	○言語活動への取り組み状況 ○課題の提出状況

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、授業での学習活動に取り組む態度、課題の提出状況、定期考査・小テスト・パフォーマンステストの成績などを総合して行います。学年末の評価は、各学期の成績を平均することにより行います。

4 学習のポイント

- 授業の内容をしっかりと理解し、練習や復習を通して定着させていきましょう。
- 言語活動では間違いを恐れず積極的に取り組みましょう。
- 基本的な文法に習熟することが全ての言語活動の基盤になります。しっかり取り組みましょう。
- 授業以外でも、NHKラジオ講座等を活用して、毎日少しずつ継続して英語力の向上に努めましょう。

5 学習計画（予定）

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	Part 1 Lesson 1	・日本語で省略される主語などに注意して、英語の文を表現できるようにします。
	Lesson 2	・伝えたい内容を、適切な意味を持つ動詞を用いて英語で表現できるようにします。
	Lesson 3	・名詞が、数えられるか、特定のものであるかなどを意識して英語で表現できるようにします。
	Lesson 4	・友人や周りの人について、「～である（ない）」、「～ですか（しますか）」などを英語で表現できるようにします。
5	Lesson 5	・家族や周りの人について、「～する（している）」、「～した（していた）」などを英語で表現できるようにします。
	Lesson 6	・余暇の予定や計画などについて、未来で行うことを英語で表現できるようにします。
	Lesson 7	・自分の町や身の回りの状況について、現在、過去における完了、継続、経験の意味を英語で表現できるようにします。
	Lesson 8	・先生や学校での生活について、能力、許可、水量などの意味を英語で表現できるようにします。
6	Lesson 9	・催し物や行動、活動などについて、必要、義務や、過去についての推量、後悔などを英語で表現できるようにします。
	Lesson 10	・有名人などについて、「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを英語で表現できるようにします。
	Lesson 11	・読書や感情に関連する事柄などについて、「～される（されない）」「～に満足している」などを英語で表現できるようにします。
7	Lesson 12	・希望や目標、物事を行う方法などについて、「～すること」「～する方法」「～するための」などを英語で表現できるようにします。
	Lesson 13	・助言や頼み事などについて、「～するために」「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などを表現できるようにします。
9	Lesson 14	・趣味やその他の日常の活動について、「～すること」などを英語で表現できるようにします。
	Lesson 15	・休暇での出来事などについて、「～している（された）…」「…が～しているのを見る」などを英語で表現できるようにします。
	Lesson 16	・動物の特徴や人の行動について、他と比較して「同じくらい～」「より～」ということを英語で表現できるようにします。
	Lesson 17	・学校での活動などについて、「最も～」「2倍の～」「できるだけ～」などを英語で表現できるようにします。
	Lesson 18	・近所の人などについて、「～する人／物」「（…が）～する人／物」などを英語で表現できるようにします。
10	Lesson 19	・友人の話や場所、時などについて、「～すること」「～する場所（時）」などを英語で表現できるようにします。
	Lesson 20	・自分の願望などの仮定の話について、事実と異なる状況、願望などを英語で表現できるようにします。
	Lesson 21	・プレゼントを贈る場面などについて、名詞の働きをする節や、時、理由、条件を表す節を英語で表現できるようにします。
	Part 2 Lesson 1	・学校生活について、勧誘、提案を英語で論理的かつ効果的に表現できるようにします。

11	Lesson 2	・学校の教科について、英語で論理的に依頼したり、理由を聞いたり、述べたりすることができるようにします。
	Lesson 3	・余暇の過ごし方について、英語で論理的に確認や訂正を行うことができるようにします。
	Lesson 4	・体調などに関して、英語で論理的に心配を表したり、助言を行ったりすることができるようにします。
	Lesson 5	・家事について、英語で論理的に義務や必要を述べることができるようにします。
	Lesson 6	・インターネットに関して、期待や確信などを英語で論理的に述べるできるようになります。
	Lesson 7	・失敗したことなどについて、英語で論理的に謝罪したり、謝罪に応じたりすることができるようにします。
1	Lesson 8	・旅行や休日の計画や予定を、英語で論理的に述べるできるようになります。
	Lesson 9	・人の性格や特徴などについて、英語で論理的に程度や結果を述べるできるようになります。
	Lesson 10	・職業について、英語で論理的に願望や目的を述べるできるようになります。
2	Lesson 11	・悩みなどについて、英語で論理的に同情や共感を表したり、励ましたりすることができるようにします。
	Lesson 12	・送別の場面などについて、英語で論理的に感謝や喜びの気持ちを述べるできるようになります。
	Lesson 13	・環境問題について、英語で論理的に賛成、反対を述べるできるようになります。
3	Lesson 14	・社会問題について、英語で論理的に意見を尋ねたり、意見を述べたりすることができるようにします。